

草の根育成助成 成果報告

特定非営利活動法人
育てる芝生-イクシバ・プロジェクト

芝生フレンドリーの輪を広げる

～芝生の草の根を育てる地域の担い手づくり事業～



団体概要

芝生を通じた地域コミュニティ形成 『芝生育ては地域育て』

『育てる芝生～イクシバ！プロジェクト』は、フカフカの芝生を地域に根付かせ“緑と人の輪”を育てることを目的とするボランティア団体で、東京都中央区晴海にある『[黎明橋公園](#)』の芝生を管理しています。

イクシバ！プロジェクトの役割

- ①地域に合わせた組織づくりと芝生管理のコーディネート、年間計画づくり
- ②場所や作業頻度、利用状況に応じた芝種選定、ボランティア活動の必要物品選定
- ③地域の皆さんと一緒に芝生を育てる(生育の知識や持続可能な組織づくりの共有)
- ④将来的な地域住民の自走(主体的管理)を目指す
- ⑤地域密着型イベントや広報活動(広報・芝生の使い方の普及)
- ⑥コミュニティ芝生に関わる人々への学びの場提供(芝生勉強会やプロ現場の見学)
- ⑦コミュニティ芝生リーダー育成

イベント・教育活動



【年間予算と申請事業の経費・助成金額】

年間予算

令和6年度活動計画書より	
経常収益	3,640,935
経常費用	2,471,669
当期経常増減額	1,169,266

申請事業経費・助成金額

草の根事業育成助成	
助成事業経費	499,903
助成金額	398,000

背景と課題

都市化による芝生環境の悪化
利用マナー・知識不足
コミュニティ希薄化

地域コミュニティと地域の緑環境創出のための活動に対して、芝生の適切な使い方が知られていないことで、維持管理が困難になっている

当法人の活動拠点である中央区晴海地区は、東京オリンピック選手村跡地を含む再開発エリアであり、2020年比で約18.5%の人口増が確認されるなど、急速な都市化が進んでいる。新築高層マンションの入居が続く中、公園芝生の利用は年々過密になり、利用マナーの浸透不足や過度な踏圧によるダメージなど、芝生の健全な維持が困難になっている。

助成事業概要

本事業は、芝生の適切な使い方「芝生フレンドリー」の意識を地域に広げることを目指し以下の内容で実地した。

①[芝フェス]

フリーマーケットや芝生体験、苗まき・種まきイベントなどを実施。
芝や土に直接触れ、雑草取り体験も行った

②[芝の育成体験 苗まき]

芝生の苗をまく苗まきを実地

③[芝の育成体験 通年緑化を目的とした冬芝の種まき]

冬芝生のたねを夏芝の上からまくウィンターオーバーシードを実地

④[ラジオ体操後の雑草取り]

夏休みのラジオ体操後に、裸足で短時間の雑草抜きを実地。

事業予算と助成金

収入

自主財源

自己資金	217,361	207,611	199,503
受益者負担	収入内容		
	芝フェス フリーマーケット収益	100,000	100,000
	小計	100,000	100,000
	合計	317,361	307,611

助成金・補助金

収入内容

草の根育成助成	430,000	398,000	398,000
---------	---------	---------	---------

収入合計

747,361	705,611	697,503
---------	---------	---------

事業予算と助成金

支出		申請	内定	報告	
助成対象経費					
	労務費	支出内容			
		計	134,100	114,100	114,100
	物品費関係				
	備品購入費	支出内容			
		小計	498,261	506,511	499,903
	消耗品費	支出内容			
		小計	35,000	35,000	33,500
	計		533,261	541,511	533,403
	広報費関係				
	印刷製本費	支出内容			
		小計	30,000	30,000	30,000
	通信運搬費	支出内容			
		小計	20,000	20,000	20,000
計		50,000	50,000	50,000	
合計		717,361	705,611	697,503	
助成対象外経費					
支出内容					
計		30,000	0	0	
支出合計		747,361	705,611	697,503	

助成物品紹介

① バロネスタインエアレーター



③ マキタ 充電式 アースオーガ + 付属品 マキタ アースオーガビット



② のぼりポール



④ バッテリー



助成物品紹介

⑤ マイク スピーカー



⑦ 雑草取り



⑧ 寄贈 テント



⑥ 種



活動紹介(芝フェス)



赤ちゃんがハイハイできる芝生を目指し、
ボランティアで芝生育てをしています！



活動紹介(種まき・ラジオ体操)



今後の展望と課題

地域主体化
活動拡大
資金確保

- ・芝生を長続きさせるための「芝生フレンドリー」普及という目標は、広く認知されつつあるものの、人口が増加している地域であることから、新しい住民が常に増えている状況のため定期的に普及の活動は行っていく必要がある。
- ・本事業を継続していくにあたり、資金面の確保は常に課題であり、来年度の事業継続にあたり役所や近隣企業のサポート、また助成金などの申請を毎年検討していく必要がある。